



葛根湯「顆粒」

漢方製剤

特徴

- 漢方薬の代表的な処方である葛根湯を服用しやすい顆粒剤にしたものです。
- かぜのひきはじめて、発熱や寒気があるかぜ症状に効果があります。
- 日本薬局方葛根湯エキスを最大量配合した満量処方です。
- 眠くならないので仕事中や外出先でも服用できます。



使用上の注意

してはいけないこと



(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります。)

1. 次の人は服用しないでください。
生後3カ月未満の乳児
2. 短期間の服用にとどめ、連用しないでください。

相談すること



1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
(1) 医師の治療を受けている人
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
(3) 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)
(4) 胃腸の弱い人
(5) 発汗傾向の著しい人
(6) 高齢者
(7) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人
(8) 次の症状のある人：むくみ、排尿困難
(9) 次の診断を受けた人：高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気、食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。


3. 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

効能・効果

かぜの初期症状、鼻かぜ又はかぜによる頭痛若しくは肩こり

用法・用量

次の量を、食前又は食間に水又は湯にて服用してください。

年齢	1回量	服用回数
15歳以上	1包 	1日3回
7歳～14歳	2/3包 	
4歳～6歳	1/2包 	
2歳～3歳	1/3包 	
2歳未満	1/4包 	

※食前とは食事の前30分以内、食間とは食事と食事の間で食後2～3時間をさします。

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (2) 1歳未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむを得ない場合にのみ服用させてください。
- (3) 1包を分割した残りを服用する場合は、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用してください。

成分・分量 1日量(3包)中

葛根湯エキス…5.0g

カクコン……………	8g	シャクヤク……………	3g
マオウ……………	4g	カンゾウ……………	2g
タイソウ……………	4g	ショウキョウ……………	1g
ケイヒ……………	3g		

より製した乾燥エキス

添加物として、白糖、乳糖、D-マンニトール、ショ糖脂肪酸エステルを含有する。

〈成分・分量に関連する注意〉

本剤は天然物(生薬)のエキスを用いていますので、顆粒の色あいが多少異なることがあります。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり、品質が変わります。)
- (4) 使用期限(外箱に記載)を過ぎた製品は服用しないでください。

お問い合わせ先

お客様相談窓口 ☎ 0238(46)2013
月～金曜日 9:00～17:00 (祝日を除く)

製造販売者 **協同薬品工業株式会社**
山形県東置賜郡川西町大字西大塚930